

感染症情報 8月1日～8日

府下小児科201医療機関（堺市19）から

①感染性胃腸炎	752例（堺市 31例）
②ヘルパンギーナ	418例（堺市 81例）
③おたふくかぜ	394例（堺市 30例）
④溶連菌感染症	317例（堺市 21例）
⑤突発性発疹	116例（堺市 5例）

が報告された。

感染症報告数は全体として前週より13%減少、第1位に感染性胃腸炎、第2位にヘルパンギーナ、第3位におたふくかぜが入った。感染性胃腸炎は前週に引き続き、12%減少、ヘルパンギーナは34%、おたふくかぜも11%減少した。幼稚園、学校が夏休みに入ったのが、影響していると思われる。猛暑日が続いているので、熱中症にかからないよう、適度にエアコンを使用し、こまめに水分補給をしてほしい。これから感染症の少ない時期になるので、幼稚園生、小中学生は夏休み中にはしか・風疹ワクチン、日本脳炎ワクチン、DT2混ワクチンなどの予防接種を受けておきたい。

はしか、風疹の報告はなかった。